

あなたと議会のふれあい誌 伊奈町

議会だより

第198号



令和4年 12月定例会

◆ 令和3年度決算特別委員会

P5 ~ 7

◆ 議会報告会・アンケート結果特集

P21 ~ 23

支援地方交付金」を活用1億807万円

学校給食費の減免が決まる

期間は令和5年1月から3月分まで

予算額 **5,314万円**



価格高騰の影響を受けた小・中学生の保護者に対し、学校給食費の免除または支援金を支給します。

●**学校給食費全額補助**
対象者は。
問 町立小学校229人、町立中学校132人。
答 学校教職員にも適用されるのか。
問 児童・生徒の保護者に対し適用し、教職員には適用しない。

●**私立小・中学校等および小・中特別支援奨励者にも支援**
対象者は。
問 私立小学校等72人、私立中学校等158人、小学校特別支援奨励者39人、中学校特別支援奨励者24人。
答 私立は5千円から6千円と、給食費に差があるが町の公立小・中学校と同様とするのか。
問 町の小学校は月額4350円、中学校は月額5150円なので、そこまでを上限とする。

12月定例会は、11月29日から12月13日までの15日間で開催されました。町長提出議案等は、報告1件、諮問2件、議案24件、議員提出議案2件を審議し、全て原案どおり可決しました。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

伊奈町議会議長 永末厚二

新春を迎え皆様のご多幸をお祈りします。コロナ禍の中、町民の皆様には時には本会議や委員会の傍聴自粛等をお願いしながら議会を開催してまいりました。大変ご不便をおかけしています。来年度は本会議をネット配信し、ご自宅にいても本会議の模様をパソコンなどで見られるよう予算要求をしています。

さて、最近の議会議員の中では、コロナによる事業の自粛や疲弊したコミュニケーションを心配する課題指摘が目立ちます。今年も私たちはアフターコロナの中、町民皆様に寄り添い、課題解決に取り組んでまいります。結びに皆様のご健勝とご多幸を祈願し新年のご挨拶とします。



公職選挙法の規定により、選挙区内に年賀状等のあいさつ状を出すことは禁じられています。議員個人としての年賀状は失礼させていただきます。

「電力・ガス・食料品等価格高騰重点

低所得者に支援金（5万円）

予算額 国事業 2億1,529万円
町事業 4,087万円

国事業

住民税非課税の3900世帯と
家計急変世帯に支援

町事業

住民税均等割だけの世帯にも拡大

価格高騰の影響を受けた低所得世帯に対し1世帯当たり5万円の給付金を支給します。

問 住民税均等割だけの世帯はどのくらいあるのか。

答 約800世帯ある。

問 新型コロナウイルス関連の今回の一般会計補正予算を議会を開かず専決処分した理由は。

答 価格高騰のおり、いつときでも早く支給したいため。国からも

同様な要請があった。

問 専決処分日とその後の支給状況はどうか。

答 10月21日に専決処分をし、11月1日にはプッシュ型で対象者に案内した。

問 今まで何人くらいに支給できたか。

答 まだ支給できていない。（11月29日現在）

国の支給を先にしたので遅れている。

重点支援先への価格高騰支援給付事業

予算額 1,184万円

価格高騰重点支援事業

（単位：万円）

種類	対象（事業者数）	支援内容	予算額
公共交通	バス(2)	5万円×12路線	75
	タクシー(1)	5万円×3タクシープール	
障害福祉	訪問系(8)、通所系(13)	1事業所各5万円	136
	入所系(3)	1事業所各10万円	
介　　護	訪問系(33)、通所系(20)	1事業所各5万円	476
	入所系(21)	1事業所各10万円	
生産団体	水利組合(撥水機)	電気料高騰分(昨年との差額)	53
保　育　所	町内私立保育施設 認可外保育施設	1,700円×定員数(合計904名)	154
医療機関	入院施設あり医療機関(3)	1事業所各10万円	291
	入院施設なし医療機関(13)	1事業所各5万円	
	歯科医院(15)		
	調剤薬局(23)助産院(1)		

（注）予算額には事務費を含む

問 9月議会で議決した、がんばれ！伊奈の事業者応援大作戦（5

重点的支援先として、公共交通機関、障害福祉事業所、介護事業所、保育所、医療系機関等に、給付が行われるものです。（左表参照）

問 申請や支給の進捗状況は。

答 介護事業所では、既に4割の申請があり、200万円を支給済である。（11月29日現在）

第12回 新庁舎建設特別委員会

概算事業費 24%増 規模縮小等も検討へ

概算事業費の検証

概算の増額要因は。

令和3年度実施した各種調査により、現

庁舎下の既存杭の撤去費、アスベストの対応費用、環境に配慮した設備などの割増しに加えて物価の上昇分による。

基本計画では分

らなかったのか。

県内事例の平均で算出した調査前のもので反映できなかった。

概算額の意味は。

事業者の募集向けのもの。今後基本設計、

実施設計で金額が決まる。

設計業務の増額理由は。

建物面積の単価増や、設備の内容が変わったため。

増額の要因となっている環境に配慮した設備とは何か。

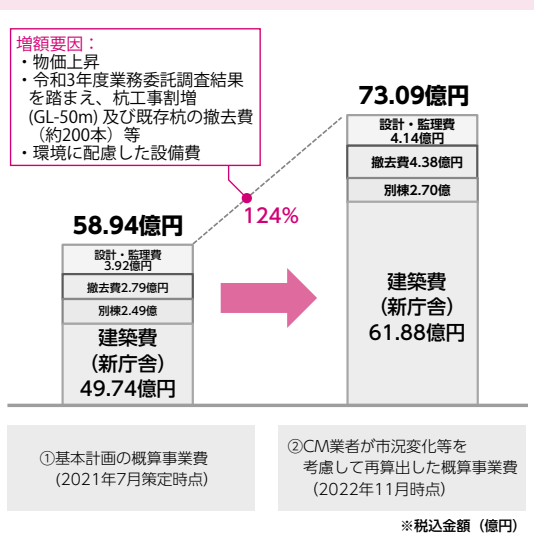
太陽光や風などを利用する設備。補助金もあるがもらえるかは不明。

事業費の上限を定めるべきではないか。

規模の縮小、複合化施設等検討している。

規模の縮小、複合化施設等検討している。

規模の縮小、複合化施設等検討している。



庁舎事例の工事単価をベースに市場変化等を考慮した概算事業費
ここからどれだけ金額を下げるができるのか

議案に対する質疑

町民に不利益のない
規約であるか



武藤 倫雄 議員

第83号議案 上尾伊奈資源循環組合規約案

新ごみ処理施設に設置される一部事務組合議会の議員定数を上尾市6人、伊奈町2人とした根拠は何か。

上尾桶川伊奈衛生組合を参考に人口規模と負担割合を勘案して決定した。

議員定数の差によって両市町の負担割合を変更するなどの重要事項の決定に影響はないか。



ごみ処理施設の供用開始まではレストラン跡が組合事務所となります

規約の変更や負担割合などの重要事項については両市町で十分に事前協議した上で上程され、一部事務組合議会ではなく両市町の議会の議決を得ること

となるので影響はない。

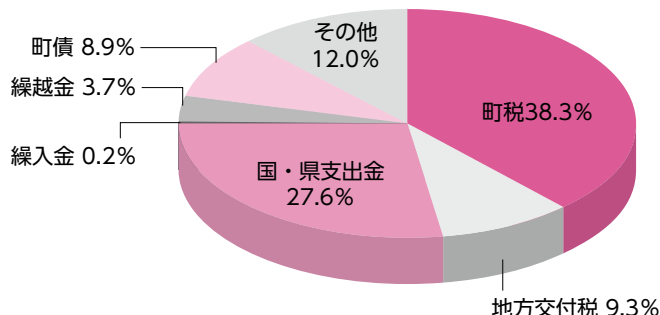
付帯施設や敷地の有効利用に関して、地権者の要望や周辺住民への配慮など建設地自治体としてのイニシアチブを確保できるのか。

将来にわたり両市町のごみ処理を続けていくことについて地元地域に協力をいただくこととなるので、伊奈町がしっかりと地権者と地元の要望を伺い、上尾市と一部事務組合と一体となって対応していく。

令和3年度決算は、議長、監査委員を除く議員で構成された決算特別委員会（審査日10月27日・28日）で審査し、12月定例会初日の本会議において採決し、全て認定しました。

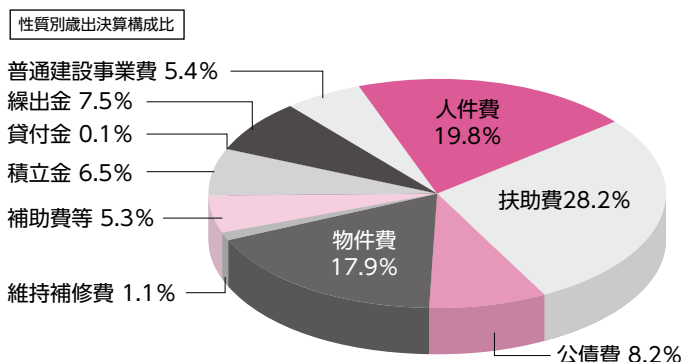
令和3年度 の歳入構成比

歳入決算額
151億2,314万5千円



令和3年度 の歳出構成比

歳出決算額
144億7,331万1千円



令和3年度決算審査

法人町民税が増加
町債の決算額も増加

歳入の増減

前年度との増減額でみると、増加額が大きな順では、町債5億2597万3千円、地方交付税4億4303万3千円、繰越金1億7663万1千円等なのに対し、減少額が大きな順では、国庫支出金36億1301万4千円、繰入金5412万円、県支出金1321万2千円等です。

町税

町税収入総額は、57億9692万4千円で、前年度比37万6千円の増となっています。

減額となっているのは、固定資産税6186万4千円（前年度比2・4%減）、所得割273万1千円（0・1%減）です。

増額となっているのは法人町民税3億6920万6千円（10・8%）、町たばこ税2284万2千円（9・5%）です。

また、町税の徴収率は、98・7%（前年度98・3%）でした。

地方交付税

地方交付税決算額は、14億193万9千円で、4億4303万3千円（46・2%）の増となっています。

また、財政力指数は、0・848で、前年度に比べ、0・025ポイントの減となっています。

財政力指数とは、基準財政需要額に占める基準財政収入額の割合で、過去3年間の平均です。

町債

町債決算額は、13億4106万6千円で、前年度に比べ、5億2597万3千円、64・5%の増となっています。

これは、臨時財政対策債2億9937万3千円、役場庁舎整備事業2億2940万円の増によるものです。



歳入質疑

コロナ特例

問 固定資産税の減少の要因は。

答 調定額、収入額とも落ち込んだ。その要因は、3年に一度の評価替えの年で、全体的に評価額が下がった。

さらに、コロナ特例により、税額が上がる土地は、前年度の税額に据え置いた。また、

経営環境の厳しい中小企業には、固定資産税の軽減措置が取られた。特例だけでも120件、約2500万円の減額である。

歳出質疑

総務費

職員の高ストレス

問 高ストレス判定が70人、この後の対応については。

答 ストレスチェックによる高ストレス判定

が70人という結果に驚いている。希望者は医師の面接指導を受けることができる。その結果については本人の同意の基、総務課に情報提供される。

新型コロナウイルス感染症対策

問 新型コロナウイルス感染症対策ウェブ会議システム導入事業について内容を。

答 ウェブ会議用の大型ディスプレイや大型テレビを町長公室、副町長室、教育長室に、またディスプレイで映すための機械、無線LANのアクセスポイントを会議室2か所に設置した。

移動させて各部署の会議でも使えるようにした。

災害用電気自動車購入

問 災害用に日産リーフを購入したが、電源を供給する場所、非常用発電機とのすみ分け

は。

答 車両単体では給電ができないが、外部給電器を接続することで使用できる。必要な場所ですべて非常用に使う予定。



319万円で購入した電気自動車

民生費

重度心身障害者手当支援事業

問 この事業の燃料費の補助、月額10000円、年額1万20000円は国の事業か。

答 町の単独事業だ。

問 燃料費の高騰が続いているが、補助額の増額の声は上がっていないか。

答 物価高騰の影響を受けている世帯には、価格高騰緊急支援として非課税世帯に5万円支給される。

衛生費

任意予防接種事業

問 この事業は当初7歳まで対象を拡大したので当初予算は170万円と増やしたが、結果として昨年実績より下回っている。理由は。

答 1歳から3歳のインフルエンザ予防接種は各種予防接種事業の任意接種、4歳から7歳未満の予防接種は各種予防接種事業に移した。そのため回数が減った。しかし、幼児インフルエンザ助成回数は令和2年度より470回分増えている。

農林水産業費

農業戦略アドバイザー業務委託料

問 業務委託料が19

8万円、この委託料の具体的な委託内容と委託先は。

答 農業戦略マスタープランの重点プロジェクトに沿った事業の企画、推進、マッチング等を行う。

マスタープランの新規就農育成プロジェクト、伊奈野菜プロジェクトで新たな生産団体の組織化、法人化を支援している。2名が法人化している。

中小企業診断士による個別経営診断も行っている。

伊奈フルーツパーク構想推進プロジェクトでは、果樹カフェを開催した。

商工費

ポライイト株式会社

問 企業誘致に際して、業績等、経営方針などの資料を企業側に求めているのか。

答 誘致には、企業の

経営方針や事業計画など資料を求めて協議している。上場企業では財務諸表などが公表されているが、非上場企業では民間の調査会社から資料を求めている。



整地中の建設現場

土木費

街路樹の害虫対策

問 街路樹害虫対策事業の約120万円は、どのエリアで行ったのか。

答 栄四丁目から六丁

目の綾瀬川の95本、綾瀬東区の33本、寿の下宿児童公園26本の桜の木を害虫を駆除した。



綾瀬川付近の桜並木

消防費

消火栓設置事業

水道事業会計に対する負担金とは何か。

公共消防の消火栓の経費は、一般会計で負担することとなっているため。

上尾市と伊奈町の消火栓の充足率は。

上尾市が88・5%、伊奈町が78・4%で消火栓の充実には上尾市

と協議していく。



消火栓は黄色くふちどりされています

教育費

奨学金貸付事業

事業実績は、一昨

年が130万円、今年が100万円、今回の実績は40万円と、右肩下がりだが、コロナ禍では需要は増していると感じるが、審査基準は厳しいのか。

奨学金は基本的に入学準備金の資金に苦慮している世帯に貸付けている。実際に困窮している世帯かどうか判断基準になる。

世帯収入と世帯構成

等をベースにした計算式で判断している。なお、令和3年度高校進学で、こちらの基準に当てはまらない事例もあった。

歳出全般

義務的経費について

当町の会計年度任用職員の報酬は人件費か物件費か。

義務的経費にあたる人件費だ。

義務的経費56・2%で、財政の硬直化について危機感。

継続中の「まち・ひと・しごと総合戦略」で人口増と労働人口増を見込んで硬直化を防ぎたい。

中部特定土地画整理事業特別会計

徴収清算金について

徴収清算金が一括納入で増え補正予算で5300万円追加補

正をした。

徴収清算金の全体と進捗状況、残高は。

徴収清算金の総額は2億536万1722円だ。令和3年度から徴収を始めて最終年度は令和13年度。令和3年度末時点の収納額は1億674万105円、収納率は81・5%。翌年度以降の分割納付総額は3005万6600円。残り786万5017円は滞納分。そのうち1件は令和4年度から分割納付4件はこれから財産調査して滞納処分を行う。

水道事業会計

管路経年化率

管路更新率が前年比、0・37%減の1・3%と悪化しているが、計画どおりだったのか。

計画距離が短かったため、予定どおりだった。

令和3年度決算認定 議案一覧及び審議結果

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出議案	決算	認定第1号	令和3年度伊奈町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第2号	令和3年度伊奈町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第3号	令和3年度伊奈町中部特定土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第4号	令和3年度伊奈町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第5号	令和3年度伊奈町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第6号	令和3年度伊奈町水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
		認定第7号	令和3年度伊奈町公共下水道事業会計決算認定について	全会一致 認定

委員会での質疑と答弁の一部を要約しました。

総務課 建設課

町長提出議案10件が審議されました。(12月2日開催)

所管事項

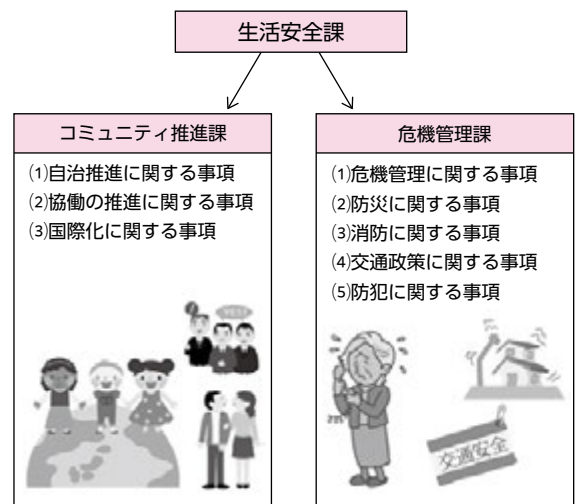
一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

職員の定年年齢65歳に

- 町職員の定数と定年
問 町長の事務部局職員定数を19人増やす理由は何か。
答 昨今の行政需要に対応するため。
問 定年年齢が延長されることで職員の昇進への弊害はないのか。
答 定年延長に伴い、管理監督職員の上限年齢が60歳までとなる規定も設けられる。
- 一般会計補正予算
問 歳入の衛生費寄付金の内容はどうか。
答 連携協定を締結している企業から地域住民の健康増進にと寄付されたもの。
- 問 歳出の光熱水費が各所で増額補正になっているが内容は。
答 電気料金、ガソリン等の値上げによるもの。例として役場で、1年前と比較すると約65%程度上がっている。
- 新庁舎整備事業
問 1億456万3

- 千円の減額補正の理由は。
答 事業手法の変更に伴い、新庁舎整備基本設計の業務委託を今年度実施しないことになったため。
- 交通安全対策
問 道路照明灯維持管理費308万円の増額補正の内容は。
答 電球切れによる交換費用。当初の予定数44基に既に達している。今後3月までに例年40基程度切れているため増額補正する。
- 消防人件費増額補正
問 増員によるものか。
答 違う。救急出動等が増えたので特殊勤務手当と時間外勤務手当を増額するもの。
- 問 特殊勤務手当200万円増額の理由は。
答 特に夏場に新型コロナウイルス感染症の事例が非常に多く発生し、対応したため。

- 生活安全課を「危機管理課」と「コミュニティ推進課」に
問 危機管理課とは。
答 危機管理の全般と総合調整をする。防災、災害救助、国民保護等及び消防広域化後に残る消防業務、総合交通政策、交通安全、防犯対策、暴力排除などの業務を担当する。
- 伊奈町個人情報保護に関する法律施行条例
問 これまでの個人情報保護の保護に関する条例はどうなるのか。
答 廃止となる。
- 問 地方自治の原則が達成されなくなるのではないか。
答 各市町村が個別の条例で保護していたものを国の個人情報保護法の下で保護していくこととなる。その法律の施行に関する部分について各市町村で条例を設けるものだ。懸念が生じないよう町として努めていく。



2課体制へ移行 住民サービスの向上に期待

常任委員会レポート

文教民生

町長提出議案4件が審議されました。(12月5日開催)

所管事項

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

広域ごみ処理 組合規約固まる



上尾・伊奈広域ごみ処理施設は、令和15年の稼働をめざしている。写真：現在のクリーンセンター

●広域ごみ処理の上尾伊奈資源循環組合規約

議員数の説明を。

問 人口比や負担面から、上尾市6人、町2人で合意した。議決が必要な議案等は、事前に両市町の担当チェックや正副管理者会議で協議するので、議員の数は6対2だが、不安はないと考える。

答 町単独の場合と、

この規約に基づく広域で行う場合の費用比較は。

答 町単独の場合は国の補助が得られないこともあり、今のクリーンセンターを使っている場合の試算として、今後20年間で、大規模修繕に約30・2億円、運営費が約86・8億円で費用合計約117億円と見込む。

広域での場合の試算として、建設費で約175億円、20年間の運営費で約168億円、合計約343億円。うち町の負担額は、建設で約40・4億円、運営で約39・8億円、合計で約80・2億円と見込む。

差し引きの約36・8億円が広域の場合のメリットと考えている。

問 建設と地域還元施設への組合の関わりは。

答 建設、地域還元施設ともに、両市町の予算が必要となるので、両市町が組合と一体となつて、要望を確認し、十分協議しながら進めていく。

※その他、組合職員、用地取得、道路整備、事務局事務費、付帯設備等についても質疑がありました。

●価格高騰対策医療機関等緊急支援給付事業

なぜ医療機関か。

答 国の重点推奨メニューに、医療機関、介護施設、障害者施設等が示されており、それに基づき実施するもの。

●北保育所の光熱費

増額の詳細は。

答 電気料が昨年同期より65%、使用量が7%増加した。北保育所は建屋自体が大きく、支援センター、通園施設も兼ねており、影響が大きい。

●伊奈町国民健康保険

負担限度額引上げの増収額と対象者数は。

答 増収は約230万円程度。102万円へ引き上げとなる世帯数は73件、99万円から102万円未満となる世帯数は8件。

〈12月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出議案	人事	諮問 第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ・人権擁護委員の茂木洋一氏の任期が令和5年6月30日で満了となるため、後任として本多昇氏を推薦することについて意見を求める。	全会一致	適任
		諮問 第3号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ・人権擁護委員の齋藤和郎氏の任期が令和5年6月30日で満了となるため、後任として大熊康雄氏を推薦することについて意見を求める。	全会一致	適任
		第62号 議案 伊奈町公平委員会の委員の選任について ・公平委員会の委員の馬橋繁氏の任期が令和4年12月21日で満了となるため、同氏を再選任することについて同意を求める。	全会一致	同意
	専決	第63号 議案 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度伊奈町一般会計補正予算（第7号）） ・価格高騰の影響を受けた町内路線バス事業者及びタクシー事業者、障害福祉事業所及び介護事業所等、農業者（水利組合）、住民税非課税世帯、住民税均等割のみ課税されている世帯等に給付金を支給。また、学校給食の食材費高騰相当分を補填。	全会一致	承認
	補正予算	第64号 議案 令和4年度伊奈町一般会計補正予算（第8号） ・歳入歳出各8,200万3千円を追加し、補正後総額を136億999万6千円とする。歳入では、人事院勧告による会計年度任用職員報酬等の補助金の増額、財政調整基金からの繰入。歳出では、給与及び共済組合負担金等の人件費の補正、価格高騰の影響を受けた小中学生の保護者に対し、給食費の支援金等の増額。	全会一致	原案可決
		第65号 議案 令和4年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各50万円を追加し、補正後総額を各38億421万3千円とする。人事院勧告による給与及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第66号 議案 令和4年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各12万円を追加し、補正後総額を各2,212万2千円とする。人事院勧告による給与及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第67号 議案 令和4年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各65万円を追加し、補正後総額を各27億5,977万2千円とする。人事院勧告による給与及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第68号 議案 令和4年度伊奈町水道事業会計補正予算（第3号） ・水道事業費用は、営業費用を32万3千円増額し、水道事業費用を10億7,588万4千円とする。人事院勧告による給与及び共済組合負担金等の増額等。	全会一致	原案可決
		第69号 議案 令和4年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算（第2号） ・下水道事業費用は、営業費用を27万3千円増額し、8億7,425万9千円とする。人事院勧告による給与及び共済組合負担金等の増額等。	全会一致	原案可決
		第70号 議案 議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 ・議会の議員の期末手当の支給率を0.1月分引上げる。	全会一致	原案可決
	条例	第71号 議案 町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・町長、副町長及び教育長の期末手当の支給率を0.1月分引き上げる。	全会一致	原案可決
		第72号 議案 伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・人事院及び埼玉県人事委員会の勧告等により、町職員の期末手当の支給率を一般職は0.1月分、再任用職員は0.05月分引上げるとともに、若年層の給与月額を平均0.3%引き上げる。	全会一致	原案可決
		第73号 議案 令和4年度伊奈町一般会計補正予算（第9号） ・歳入歳出各2,976万8千円を追加し、補正後総額を136億3,976万4千円とする。歳入では、コロナワクチンの接種費用補助金、放課後児童健全育成事業補助金、健康増進対策等寄附金の増に対し、財政調整基金の減額など。歳出では、新庁舎基本設計業務委託料の減額に対し、職員手当等の見直しに伴う人件費、燃料費及び電気料金の価格高騰等の対応、配食サービス利用者増加に伴う繰出金、上尾・伊奈ごみ処理広域化事業の一部事務組合の準備の増額等。	全会一致	原案可決
	補正予算	第74号 議案 令和4年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各69万6千円を追加し、補正後総額を各27億6,046万8千円とする。配食サービス事業費の増額。	全会一致	原案可決
		第75号 議案 令和4年度伊奈町水道事業会計補正予算（第4号） ・水道事業費用は、営業費用を419万5千円増額し、水道事業費用を10億8,007万9千円とする。人事異動による人件費の増額。	全会一致	原案可決
		第76号 議案 地方公務員法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 ・60歳に到達した後の給料月額を7割とする等、職員の定年年齢の引き上げに伴い整備が必要な条例の改正。	全会一致	原案可決

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出議案	第77号 議案	伊奈町の消防事務を上尾市に委託することに伴う関係条例の整備に関する条例 ・上尾市に消防事務を委託することに伴い、整備が必要な条例を一括して改正する。	全会一致	原案可決
	第78号 議案	伊奈町課設置条例の一部を改正する条例 ・行政需要の多様化により迅速に対応するため、町行政組織を改正する。令和5年4月1日からの消防広域化に伴い消防本部及び消防署の業務を町に移管するため、生活安全課をコミュニティ推進課と危機管理課に分ける。	全会一致	原案可決
	第79号 議案	伊奈町個人情報の保護に関する法律施行条例 ・個人情報の保護に関する法律が改正され、地方公共団体の個人条保護制度は、全国共通ルールが直接適用されることになったため、現行の条例を廃止し、必要な事項を整理して新たに法施行条例を制定する。	賛成多数(注)	原案可決
	第80号 議案	伊奈町職員定数条例の一部を改正する条例 ・町長の事務部局の職員を215人から234人とし、消防長の所管に属する職員を削る。	全会一致	原案可決
	第81号 議案	伊奈町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 ・国の職員の定年年齢が60歳から65歳に引き上げられることに合わせ、同様の改正をする。	全会一致	原案可決
	第82号 議案	伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・国民健康保険事業の健全な運営を図るため、国民健康保険事業の基礎課税額（医療保険分）の課税限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税額の課税限度額を19万円から20万円に引き上げる。	全会一致	原案可決
	その他 第83号 議案	上尾伊奈資源循環組合規約に関する協議について ・上尾市及び伊奈町のごみ処理に関する事務を共同処理するため、上尾伊奈資源循環組合を設置することに関し、協議により伊奈町資源環境組合規約を定める。	全会一致	原案可決
	認定 第84号 議案	町道路線の認定について ・町道4361路線（小室字志久5332番16地先～小室字志久5332番12地先）及び町道4362路線（小室字丸山1028番1地先～小室字赤羽4801番2地先）は、それぞれ一般交通の用に供するため、新たに町道として認定する。	全会一致	原案可決
議員提出議案	廃止 第85号 議案	町道路線の廃止について ・町道4359路線（小室字丸山1028番1地先～小室字赤羽4801番6地先）は、それぞれ一般交通の用に供する必要がなくなったため、町道を廃止する。	全会一致	原案可決
	条例 議第3号 議案	伊奈町議会委員会条例の一部を改正する条例 ・伊奈町課設置条例が改正されたことに伴い、各常任委員会の所管を改定する。	全会一致	原案可決
	議第4号 議案	伊奈町議会の個人情報の保護に関する条例 ・個人情報の保護に関する法律が改正されたため、伊奈町議会における個人情報の適切な取扱いについて、新たに制定する。	賛成多数(注)	原案可決

(注) 全会一致でないものは下記のとおり、全会一致のものは議員ごとの賛否の表示は省略します

賛否がわかれた議案の審議結果

○…賛成 ●…反対

議案名		議員名														結果	
		武藤 倫雄	高橋まゆみ	山野 智彦	大野 興一	栗原 恵子	戸張 光枝	藤原 義春	五味 雅美	上野 尚徳	永末 厚二	大沢 淳	佐藤 弘一	青木 久男	村山 正弘		山本 重幸
第79号 議案	伊奈町個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	○	●	○	○	○	●	○	－	●	○	○	○	○	原案 可決
議第4号 議案	伊奈町議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	●	○	○	○	●	○	－	●	○	○	○	○	原案 可決

(注) 議長「—」は議事進行を行うため、賛否表明はしません

反対討論 大野 興一
現行の伊奈町個人情報保護条例を廃止する議案は、国の個人情報保護法に地方自治体は従えということ。しかも、個人情報保護を民間にも利用させることが定めてあり、基本的な人権尊重、地方自治の原則からも許されない。

第79号議案
伊奈町個人情報の保護に関する法律施行条例

討 論

一般質問

そこが
聞きたい



11人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問^{ただ}い質します。12月定例会では、11人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。13ページから18ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約し、掲載しています。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館にある会議録でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
13	武藤 倫雄	● 志久駅エレベーター設置について ● 埼玉県児童虐待重大事例検証報告書について ● 街区公園がない地域について ● 乳幼児向け防災備蓄品の拡充について ● 地域経済について
13	戸張 光枝	● 妊娠から子育てまで一貫した伴走型支援の充実と直接支援により子育て環境の改善を
14	山野 智彦	● 町内の野良猫についての町の対応は ● 新型コロナ等に関連して、家庭支援・事業所支援策が最近多数行われているが、それらの事業コスト、あるべき支援、財政債務（借金）の増大について
14	藤原 義春	● スポーツフェスティバルについて ● シニアスマホ教室について ● いきいきパスポート事業について ● 学校ICT教育環境整備事業について
15	大野 興一	● 災害時の非常水源として井戸の活用を ● 会計年度職員にも市町村共済組合法が適用されることになったが、その内容は
15	大沢 淳	● 非正規・会計年度任用職員の実態と処遇改善の課題 ● 消費税インボイス制度の問題点と自治体、地域経済への影響 ● コロナ禍における町のイベントや学校行事を通して今後の適切なあり方の模索を
16	上野 尚徳	● ニューシャトル、路線バスなど。人口流出対策として、ＪＲ線までの利用、町内利用の交通費に助成金を ● 近隣市と連携した町民サービスの向上。蓮田駅、桶川駅、上尾駅など。町民の利用が多い駅に伊奈町役場の出張所の開設を ● 学びを応援する奨学金。働き世代の定住もねらい、就職後の町居住期間などの条件付きで町独自の給付型奨学金制度の設立を
16	高橋まゆみ	● 家庭用防犯カメラ等の設置に補助金を ● 野生鳥獣等による農作物被害の防止に町のサポートを ● 都市計画道路上尾伊奈線と、上尾・伊奈広域ごみ処理施設を含む精進場地域の一帯開発を ● 中部特定土地区画整理事業施行地区内における土地分筆登記について
17	青木 久男	● 新型コロナウイルス第8波とインフルエンザの同時多発流行が危惧される中で ● 現役世代のがん患者への支援について ● 老人福祉センター、レジオネラ菌による浴室利用休止について ● 公共施設相互利用の拡大について ● 町内循環バス「いなまる」の安心安全対策及び利便性向上について ● 外来種害獣対策について
17	栗原 恵子	● がん教育について ● YouTube伊奈町公式チャンネルについて
18	五味 雅美	● マイナンバーカードの健康保険証化 ● 道路の安全確保を ● 住基ネットの取り扱いのルールは

過去の質疑の進捗を確認する



むとう みちお
武藤 倫雄 議員

問 志久駅エレベーター設置の進捗はどうか。

答 来年度に行う基礎調査に向けて埼玉新都心交通(株)及び建設コンサルタント事業者と協議を進めている。

問 埼玉県児童虐待重大事例検証報告書の受

け止めはどうか。

答 県の検証委員会から指摘された課題を受け止め、事件発生後から取組んできた再発防止策の更なる改善を図る。二度と発生することがないよう努める。

問 現在、所属や所在



公園・防災空地への活用に向けて協議が進む

の分からない児童はいないと認識してよいか。

答 いない。

問 街区公園がない地域への取組みはどうか。

答 志久区の水路上の場所に今年度1基遊具を設置した。また、新幹線高架下の空きスペースを活用できないかJ・Rと協議している。

問 乳幼児向け防災備蓄品の状況はどうか。

答 液体ミルク、粉ミルク、哺乳瓶、子供用おむつなどを備蓄している。

問 地域経済活性化のため今後のまちづくりで考えはあるか。

答 志久駅を核としたにぎわい空間の創出を推進したい。また、今年度から見直しが始まる総合振興計画や都市計画マスタープランの中でも考えていく。

伴走型支援と直接支援で子育て環境の充実を



とばり みつえ
戸張 光枝 議員

日本一子育てしやすい町を目指し体制強化を

問 長引くコロナ禍、全国的に虐待件数が増加傾向、町での推移は。

答 令和2年度が87件、令和3年度が88件。

問 そのうち深刻な案件と見守り体制は。

答 令和4年11月現在で10件。伊奈町要保護児童対策地域協議会で支援の必要度や方向性等を決定し、中央児童相談所等の関係機関とペアで家庭訪問等を定期的に実施し、児童の安全確認をしている。



痒い所に手が届く直接支援でママと子どもたちの笑顔を守る

問 産後ケアの現状は。

答 出産後1年を超えず、育児不安がある方等が対象。町と契約した助産師が利用者宅を訪問し育児相談や授乳の仕方など指導を実施。

問 児童福祉と母子保健が一体となった新たな体制作りが求められている。こども家庭センターの設置は。

答 検討を進める。

児童福祉法が一部改正。直接支援の重要性が高まる

問 家事支援ヘルパー・ベビシッターはそれぞれ役割が違う。トータルに直接支援できるのが産後ドゥーラ。人材育成のために補助制度の開始を。

答 こども家庭センターの設置検討を進める中で県の補助事業なども踏まえ研究する。

野良猫への対応。ばらまきと借金増大の先は。



やまの ともひこ
山野 智彦 議員

野良猫への町の対応

問 町民からの野良猫相談への町の対応は。

答 県の対応である敷地侵入を防ぐ方法、室内飼いの勧め、えさやりの問題点、これらの周知を行っている。

問 野良猫への不妊去勢手術に助成を。県の補助金制度もある。

答 他市町の実施状況を確認し、研究する。

問 県の「地域猫活動」を町の方針とし、広く周知してはどうか。

答 町ホームページへの掲載や、区長会等での



埼玉県「地域猫活動」とは、野良猫を減らすため「地域の野良猫に不妊去勢手術を施し、その猫が命を全うするまでの一代限りで、適切に管理する活動」

の案内を行っていく。

ばらまきよりも減免を

問 一律給付のばらまき型より、減免型の方が経費が少なく真水が多い。1世帯当たり特別定額給付金では1034円、水道料金減免では2回計で18円の事務経費だった。支援給付するのなら、減免型を主にすべきでは。

答 効果的な支援策を今後も実施していく。

国・町の借金増大の先

問 ばらまきで国・地方の借金計は1255兆円を超えた。借金増大と増税でイギリスは1976年に国が破綻した。日本の破綻防止のため、町は国に借金と増税を止め減量するよう要望すべきでは。

答 臨時財政対策債の抑制等は、全国町村会を通じ要請している。

スポーツフェスティバルの開催について



ふじはら よしはる
藤原 義春 議員

競技に参加する区が半数以下

問 スポーツフェスティバル（旧町民運動会）を実施できなかった要因を、どう分析するか。

答 競技に参加する区が半数以下であったこと、新型コロナウイルス

ス感染症が第7波の中であつたこと等が要因と考えている。

問 高齢者のスポーツ競技をわかりやすく周知し、教室や大会を開催したらどうか。

答 高齢者も楽しめるユニバーサル競技の競



町民運動会の競技に熱心に頑張る選手たち（4年前）

技用具を複数購入し、町民への貸出しや、体験会の実施など、広く周知していきたい。

シニアスマホ教室

問 この教室が始まったが、参加した人の感想は。

答 わかりやすく良かった、色々な機能を使えるようになったといった感想だ。

問 教室の頻度を増やしたら、どうか。

答 希望の多かった内容のコースを拡充するなど、参加者のニーズに合わせた開催方法を検討したい。

いきいき長寿パスポート事業

問 この事業が11月に始まったが、感触は。

答 12月5日現在、118名の人々がパスポートを取得しており、町民の長寿につなげたい。

災害時に井戸の活用を



おおの こういち
大野興一 議員

災害での水道管復旧

問 水道管の復旧にはどの位かかるか。

答 耐震化率は62%、南部大公園、内宿台公園に応急給水用の貯水槽を備えている。

しかし、災害の規模、被災状況で異なり復旧

時間の把握は難しい。

災害時に井戸の活用

問 非常水源に井戸水を使う考えはないか。

答 井戸水の活用は、災害時の生活用水を確保には有効な手段だが、非常水源として家庭用の井戸を使用すること



庭の散水に使われる井戸水（左）
陸田の水に使われる井戸水（右）



は衛生面の観点からできない。

問 現在井戸の数は。

答 把握できていない。

問 管理の支援は。

答 井戸水の活用のため管理等の支援は困難であるが、他市の活用情報等を参考に研究する。

会計年度任用職員の共済制度の適用

問 実施時期、その内容、未実施はないか。

答 令和4年10月1日実施された。非常勤職員の共済組合加入の要件は、週の勤務時間29時間以上、任用期間2か月を超える者。または、週20時間以上、2か月を超え、月額賃金8万8000円以上で学生でない者に短期給付、福祉事業が行われる。未実施はない。

会計年度任用職員の処遇改善を



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

問 正規職員と会計年度任用職員の比率。男女比率は。

答 常勤職員・再任用職員が57%。会計年度任用職員が43%。

男女比率は、常勤・再任用職員が男性64%、女性36%。

会計年度任用職員は、男性9%、女性91%。

問 会計年度任用職員制度導入による処遇改善の成果と課題は。

答 成果は期末手当が支給できるようになった。課題は専門職の確保に苦慮している。



小学校も多くの会計年度任用職員に支えられている

問 期末手当支給の条件は。

答 週の勤務時間が20時間以上で、任用期間が6か月以上。

問 勤務時間規定の撤廃もしくは引き下げを。

答 国の基準に準じた

消費税インボイス制度の問題点

問 地域経済への影響は。

答 免税事業者にとって消費税の納税義務が発生する。取引先との関係への影響、また売上高の減少などが考えられる。

問 シルバー人材センターへの影響は。

答 免税事業者であるセンターの会員は適格請求書を発行できないため、センターは新たな消費税の負担が発生する。

財政安定・福祉還元 働き世代・子供へ投資を



うえの なおのり
上野 尚徳 議員

ずっと伊奈町に住み続けてもらうため、ニユーシャトルの運賃、通学定期券への補助を

問 0円で1・9倍。子育て世代が負担と感じていると思うか。

答 負担と感じていることは想像できる。

問 JRの金額との比較は。(内宿・大宮／一か月)

答 運賃は+120円。通学定期券は+515



現在・将来の納税者と相思相愛の関係を築く。様々な支援策で人口流出を阻止。町税安定が福祉を充実させ、町を維持し続けていく鍵。

定期券に補助金を。

答 他の方法で通学する学生もいる。難しい。

問 高齢者の町内移動の時、補助できないか。

答 70歳以上が無料となる「いなまる」を利用してほしい。

町外で働く人のため、夜間開設の出張所を

問 日時限定でも良いので近隣駅での町の出張所を検討できないか。

答 新たな出張所は考えていないが、便利にサービスを受けられるよう研究していく。

お金の心配なく思いきり学べる環境作りは未来へ向けた大切な投資

問 しっかり勉強した後、納税という形で貢献してもらう条件の給付型奨学金の設立を。

答 移住・定住につながる奨学金制度の情報を集め研究していく。

まちの将来像を見据えた取り組みを



たかはし まゆみ
高橋 まゆみ 議員

家庭用防犯カメラ等の設置に補助金制度を

問 令和3年1月から令和4年10月末までに

町内で発生した住居侵入盗、自転車盗、自動車盗の事例は。

答 住居侵入盗34件(在宅中4件)、自転車

盗85件(居住地内25件)、自動車盗4件(居住地内3件)の発生。

野生鳥獣等による農作物被害防止サポートを

問 被害状況と対策は。

答 令和3年度では、アライグマ22頭、ハクビシン1頭、タヌキ5



都市計画道路上尾・伊奈線が通過する精進場地域。ごみ処理施設建設予定地側とは逆に、豊かな自然が残る一方、現在は水害と背中合わせの場所

頭を捕獲。被害面積は

果樹園約500㎡、野菜が約400㎡で、被害総額は約21万8千円。

鳥類については被害農家からの具体的な報告がないため把握できていない。現在の補助制度の他、防鳥獣用品について調査・研究する。

都市計画道路上尾伊奈線と広域ごみ処理施設

問 上尾伊奈線の計画幅員縮小の経緯は。

答 令和3年度に上尾市が県に見直しの検証を委託し、廃止も含む幅員縮小と評価された。

問 住民還元施設等の要望や意見の聞き取は。

答 区の代表者等と相談しながら対応する。

従前地分筆タイムラグ

問 平成20年から可能にしたのはなぜか。

答 新しい制度のため研究に時間を要した。

現役世代のがん患者生活支援を



あおき ひさお
青木 久男 議員

問 18歳までは小児がん患者に対する助成制度があり、40歳以上については介護保険が利用可能となっている。他市での実施例もあることから19歳から39歳までのがん患者に何らかの生活支援を検討

すべきだ。

答 今後、先進的な取り組み事例などを情報収集し、生活支援策を研究していく。

高齢者インフルエンザ無料接種の再開を

問 今冬は新型コロナウイルスに加えてインフルエン

ザの同時多発が危惧される。2年前実施した高齢者インフルエンザ無料接種を再開したらどうか。

答 今年度はすでに高齢者インフルエンザや幼児インフルエンザの接種費用の一部助成を開始していて年度途中での無料接種は既に接種済みの町民への公平性から難しい。

いなまるの利便性向上

問 双方向化にしたかどうか。

答 実現にはいくつか課題がある。

問 利用者6人中100円払う人は1人が現状。さらに進んで全員無料にしたらどうか。

答 民間同業者を圧迫する恐れがあり、また受益者負担の観点から難しいと考えている。



がん患者の3人に1人は就労世代に発症すると言われている

がん教育「生命の授業」



くりばら けいこ
栗原 恵子 議員

問 生命の大切さなど総合的に学べる体制づくりに取り組む考えは。

答 児童生徒が、生命の大切さや自己管理能力の育成に向けて、道徳や特別活動、総合的な学習の時間などにもふれていけるよう各小

中学校に指導・助言していく。

問 民間団体などと連携を図りがん教育の授業を実施したらどうか。

答 県保健医療部疾病対策課の「がん教育出前講座」などを周知していく。



正しい知識と理解のために「知る・考える・家族へ伝える」(熊谷市立荒川中学校生徒感想文)

YouTube伊奈町公式チャンネル

問 移住を検討している方へのPRや、ふるさと納税の件数増加へ寄与すると思うが、それについての見解は。

答 全国の数ある市町村の中から、まずは、伊奈町を知っていたただくきっかけを作ることが重要であるので、その情報発信のひとつのコンテンツとして、YouTubeによる活用も図っていく。

問 YouTubeを活用して、今後考える戦略はどのようなものがあるか。

答 伊奈備前守忠次公やバラなどの観光資源を中心にPRしてきたが、今後、伊奈町に興味を持って頂ける方を全国にも増やせるよう展開していく。

健康保険証を廃止しないように



ごみ まさみ
五味 雅美 議員

問 医療機関に義務付けようとしている「オンライン資格確認システム」は、トラブル多発、医療機関に大変な負担だが、町の状況は。

答 町内内科、歯科、薬局の導入率約46%。使用実績は少ない。

問 健康保険証の廃止は医療機関も患者も大混乱にする。マイナンバーカードの健康保険証化は、マイナンバーカードの普及が目的。そのために医療を巻き込むのはやめるべきだ。

答 健康保険証は、法



出典：全国保険医団体連合会
マイナンバーカード押し付けのための健康保険証廃止で患者も窓口も混乱は必至

令で規定されたもので、町の判断ではできない。

道路の安全確保を

問 崩れそうな塀や枝草の生い茂りなど道路の安全に問題のある所への適切な対処を。

答 職員のパトロール等で把握に努めている。町内、通学路で20か所、他に7か所ある。

問 安全のため通学路変更の要望が出ている。

答 学校、PTA等、現地確認のうえ、通学状況を調査し、交通安全、防犯等の検討をして地域、学校運営協議会で協議する。

住基ネットの取扱い

問 他自治体で住基ネット漏洩事件が起きた。町のチェック状況は。

答 指針、規定、手順等に沿って遵守を徹底する。

町の最新情報を議会傍聴で入手!!

次回の定例会開会予定日は

令和5年
2月24日(金) です。

町でどんな計画が
されているの?
どんなことが議論
されているの??



傍聴手続きは
簡単みたい!!



町議会の本会議や常任委員会、特別委員会はどなたでも自由に傍聴できます。ただし、現在は新型コロナウイルス感染拡大を防止するため傍聴をご遠慮いただく場合があります。本会議は住民課待合室、本会議場前待合室のモニターでもリアルタイムでご視聴になれますのでご利用ください。

なお傍聴する場合は下記のことをお願いします。

新型コロナウイルス
感染拡大防止へ
のご協力のお願い

- 手指消毒・マスク着用・検温にご協力をお願いします。
- 体調の優れない方は、傍聴をご遠慮ください。



所管事務調査

文教民生常任委員会

先進のごみ処理施設

	第一工場ごみ処理施設	第二工場ごみ処理施設
焼却能力	800t/日	297t/日
焼却温度	850～1,000℃	1,400℃
炉形式	全連続焼却式機械炉	直接ガス化溶融炉
発電能力	24,000kw	9,400kw
余熱利用	発電、売電、温水供給	発電、売電、温水供給
完成	平成7年	平成28年
総工費	405億円	138億円

(参考)現在の焼却能力は、伊奈町60t/日、上尾市300t/日



余熱を利用し、プールを温水にする「熱交換器」の装置

●視察地 埼玉県越谷市
●視察日 令和4年10月14日

越谷市にある東埼玉環境組合は5市1町（越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）で組織された一部事務組合です。

大きな特徴は、付帯設備として、余熱を活用した発電機能と温水利用システムを持っていることです。発電では、施設内の必要電力を全てまかなった上、余剰分を小売電気事業者に送電しており、発電による売却益は令和3年度で5億8千万円です。

余熱利用では、場内での熱供給、給湯、冷暖房のほか、場外への熱供給を行っています。隣地の市民プールでは、ごみ焼却炉からの温水を引き込み、熱交換器を用いてプールの水を温水化しています。これにより、光熱費ゼロで温水プールと老人福祉センターの運営ができています。実際の焼却炉や付帯設備を視察でき、今後のごみ処理施設検討に大変参考になりました。

所管事務調査

総務建設産業常任委員会

被災経験から生まれた防災公園



組立てやすさや丈夫さなどを実物で確認できました

●視察地 群馬県藤岡市
●視察日 令和4年10月17日

市内60%が山間部で三方を河川に囲まれている藤岡市は令和元年の台風19号（東日本台風）の大雨で大きな被害を受けたことを機に本防災公園を整備しました。特徴は、平常時は普通の公園で、災害時には住民の緊急避難場所となり、災害支援物資の集配拠点や応急仮設住宅用地にもなる公園です。

約4・1haの敷地に、市全体の6割を目標に集積し、大型トラックも中に入れる備蓄倉庫、災害時には炊き出し用のかまどに転用できるベンチや防災テントに変化するブランコ等の遊具を備える幼児広場と遊具広場、ドクターヘリの離着場と応急仮設住宅用地となる芝生広場、車中泊も可能とする84台分の駐車場、下流河川への流水量を低減させる調整池が整備されています。

藤岡市担当者からの説明及び質疑応答の後、公園内各所を見学し、追加の説明を受けました。また、実際にベンチをかまどにする体験も行いました。

会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上を目的とし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査しています。

子育て支援とふるさとミュージアム

日程 令和4年11月11日・12日

視察地 石川県能美市

会派 みらい研伊奈・新政伊奈・颯政会

子育て支援

石川県能美市は、人口約4万8千人で、面積約84km²です。条例により、子ども・子育て会議を実施しており、学識経験者や団体の代表者などが子育て支援について検討しています。妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を地域ぐるみで取り組んでいます。子宝支援給付金支給事業も実施しており、令和3年度では、一般不妊治療に64件、約130万円、生殖補助医療に123件、約2千70万円を支給しています。

ふるさとミュージアム

能美ふるさとミュージアムには、とても多くの古墳が展示されており、古代に能美が隆盛していたことを表しています。令和3年度には、約2万8千人の入館者がありました。子育て世代が多く、歴史資料の展示を工夫したい伊奈町にとってとても参考になる視察となりました。



能美市の子育て支援の説明を受け、議場を見学

東広島市議会来庁

広島県東広島市議会の会派（創志会）4人が11月10日に、農業戦略マスタープランおよび農業施策についての行政視察で来庁されました。議員の中には農業従事者もいて、熱心に担当者との話に耳を傾けていました。



「伊奈町産米応援プロジェクト」について活発な質疑応答がありました

選挙日程

伊奈町議会議員選挙と埼玉県議会議員選挙の日程が決まりました。

埼玉県議会議員選挙

(伊奈町・上尾市)

告示日

3月31日(金)

投票日

4月9日(日)

伊奈町議会議員選挙

告示日

4月18日(火)

投票日

4月23日(日)

第10回 議会報告会

開催日

令和4年11月19日(土)

第1部 町議会の仕組み、令和4年度の主な報告など

第2部 グループに分かれて広聴会

希望者 議場見学

対面では3年ぶりとなる議会報告会を開催することができました。
 今回は参加者の皆様からご意見を伺うことに重点を置き、4つのテーブルに分かれ1時間30分ほどかけ広聴会を行いました。時に真剣に、時に笑いながらそれぞれのテーブルで活発な発言が行われました。どれも貴重なご意見ばかりで、たいへん参考になりました。感謝!!



< アンケート集計 >

- 性別 ・男性 9人 ・女性 3人
- 年齢 ・20代 1人 ・30代 1人 ・50代 1人 ・70代 8人 ・80代 1人
- 住所 ・栄 5人 ・小室 2人 ・羽貫 2人 ・寿 1人 ・内宿台 2人
- 参加回数 ・はじめて 5人 ・2～3回目 3人 ・4回以上 4人
- 議会報告会を知ったきっかけ
 - ・議会だより 4人 ・広報いな 2人 ・掲示板 3人
 - ・議員からの案内 2人 ・その他(年間予定表からほか) 3人
- 満足度
 - ・大変満足 3人
 - 理由 ・少人数の班分けで発言しやすく、やり取りもできてとてもよかった。
 - ・議員とフランクに話しても良いのだと分かった。
 - ・議員のレベルが高かった。
 - ・満足 3人
 - 理由 ・ディスカッションの場があって、いつも思っていたことが聞けて良かった。
 - ・こうして話をする事で良い方向に変わっていくのでは。
 - ・グループ広聴会は良かったと思う。
 - ・少し満足 5人
 - 理由 ・グループにしたことは良かったが、参加者が意見したいことが多く、少し時間が足りないように思った。
 - ・回答は得られなかったけど、良かったのでは。
 - ・あまり満足できない 0人 ・満足できない 0人 ・まったく満足できない 0人
- 今回の所要時間(2時間)について
 - ・ちょうど良かった 6人 ・長かった 0人 ・短かった 2人
 - ・もう少し長くても良かった 1人 ・無回答 2人

第2部

グループに分かれて広聴会

4つのグループに分かれての広聴会は、活発な発言の中、たくさんのご意見・ご要望と質問をいただきました。

議会は執行機関でないため、議会以外のことを直接お答えすることができないので、後日、関係課にご意見等をまとめ提出しました。(右写真) なお、いただいたご意見は議会活動に生かしていきます。

下記にご意見等の一部を抜粋して掲載させていただきます。



議会・議会議員

◇定例会などの様子をネット配信してほしい。
↓予算要求中です。

◇常任委員会が2つあるが、選出はどのようになっているのか。
↓議員の希望をもとに議長が調整して決定します。

◇議会だよりの一般質問の部分は抜粋ではなく全文載せるべきではないか。

↓紙面に限りがあるのに、全文は載せられませんが、少し遅れますが、議録を公開しています。

◇議案について全会一致が多いが、反対するような意見は出ていないのか。出ているのが健全だと思う。

↓議案によっては反対意見もあります。

◇伊奈町議会基本条例の「『政府としての議会』という文言は三権分立の原則に対して相応しくないのではな

いか。
↓今後の検討課題といたします。

◇議会は行政府をチェックする立場であるべきで、行政となれ合いになってはいけない。
↓そのとおりです。

◇議会を夜間に。ICTを利用して家庭でも傍聴できる体制を。
↓今後の検討課題といたします。

◇若い女性の議員をもっと増やしてほしい。
↓若い女性に限らず多くの人に興味を持って



ほしいです。

◇「ロシア」の件について、紛争はまだ続いているが、その後何かしらの行動をしているのか。

↓意見書提出後、町ではウクライナの人の受け入れをしています。

生活環境・インフラ整備

◇空き地や空き家の問題で、ごみが放置されていると町の治安にも係るため、しっかりと対応してほしい。

◇よそから伊奈町へ来た時など、住居表示がなくて分かりづらいので対応してほしい。

◇公園の遊具が減り、高齢者向けの健康器具へ代わったりしているが、どちらも必要かもしれないのでバランス良く設置してほしい。

◇公園を増やしてほしい。また、公園で座れる場所が少ないので、

座って交流できるような場所を作してほしい。

◇「いなまる」の利用状況はどうか。利用が少ないのではないかと。他の自治体でやっているデマンドバスやデマンドタクシーを取り入れてはどうか。

子育て・教育

◇子ども議会や議会の見学など、子供や若者が地方政治に対して興味を持つような環境や機会をつくるべきでは

◇教育費の保護者負担について、制度利用などの手続きが困難な家庭もあるので、救済漏れがないようにしてほしい。

◇保育所の民営化が進んでいるが、公立の良さというものもあるもので、民営化ということに流れないように。また、定員は満たすのが目的ではなく、少なければ面倒見が厚いわけ



なので、それで結構だという考えで良いのではないかと。

◇不登校児童生徒への学習支援は行っているか。

◇特別支援学級が各校にあるが、集約すれば人員・コストも集約できるのではないかと。遠隔地に通学できるような「いなまる」を1時間早く運行するなど、利用しやすいように対応してはどうか。

◇各家庭や児童生徒によって特別支援学級に關しては選択肢を残すべきものではないか。



◇子どものタブレット、IT端末について、教育の現場での実際の効果はどうか。IT化することによる教員の負担や、先生と児童生徒との直接的なやり取りの機会が減るといふのはどうか。

◇2025年から、中学の体育系部活動を地域委託することになっているが、指導者の絶対的な不足にどう対応していくのか。

◇町はグラウンドなどの使用料金を値上げしたが、大会費用などで運営予算が厳しくなっているの、中学生以

下の料金割引か、スポーツ少年団等への補助金を増額してほしい。

◇中学校の校庭をテスト期間中などの平日の開放拡大をしてほしい。学校長との相談ではなく、町で申し込みができるようにしてほしい。

地域コミュニティ

◇道路掃除や集金などが面倒との理由から自治会などに参加する人数が半分以上減ってきていて、高齢者の負担が大きくなっている。地域の希薄化も心配。

◇「議会だより」と「広報いな」がアパート等へ未配布なのはおかしいのではないかと、必ず全戸配布にすべき。

住民サービス

◇教育・生活・福祉全般において町職員数が増やし、住民サービスが滞ることがないよう、

また制度が行き渡るようにしてほしい。

役場庁舎

◇新庁舎の会議室は音響に配慮してほしい。

◇新庁舎に図書館を入れて良いのか。臨時の駐車場はどうするのか。

◇伊奈病院周辺の道路環境整備も含めて検討いただきたい。

◇役場庁舎建替えにあたり、複合化とのことだが、ゆめくるの出張所は存続してほしい。

◇新庁舎には町民が自由に気軽に使えるようなオープンスペースを設けてもらいたい。

自然・農業

◇「ずっと住みたい緑にあふれたキラキラ光る元気なまち」とあるが、最近では緑が少なくないように感じている。



緑がたくさんあったから伊奈町に移り住んだ。緑と生き物を大切にしたい。

◇ボランティアに光を与えてほしい。もう少し町としてピックアップしてほしい。

◇町の農業の問題で、農業だけで生活できる人はどれくらいか。農業は町の要となる産業なので、後継者支援などを充実させてほしい。

表紙の写真ってなあに？

Withコロナが少しずつ定着し始め、町でもイベントが行われるようになってきました。写真は「内宿区」で行われた年末恒例のお餅つき。「こんなにあんなの？」というぐらいの子どもたちが参加して、見ているこちらが幸せになる笑顔でいっぱいでした。



議会報告会に参加して…

- ・議員とは選挙の時に少しふれあうくらいで、じっくり話す機会がありませんでしたので、今回、大変充実した日になりました。
- ・年1回だとたくさん議論することがあると思いますし、報告されることも多くなりますので、最低2回は開催していただけると助かります。
- ・若年代がまちづくりについて意見を述べたり、町や町議会と議論ができる場があると嬉しいです。
- ・議員の個別の問合せフォームを町議会サイトにつくるなど、町会議員の方ともっと気軽にコミュニケーションや連絡がとれる仕組みをつくらせていただくと、町民の意見を聴取しやすくなると思います。
- ・伊奈町議会Webサイトの「議員名簿」の個別の議員の方のページに記載されているメールアドレスにつながらない事が今年に入ってからだったので、更新をお願いします。



議会クイズ

クロスワードクイズ
第51弾です。



- タテのカギ
- 1 この東塔は国宝です
 - 2 二十四節気の一つ。立春の次
 - 5 日本が昼間だとニユーヨークは
 - 6 トウモロコシをこう呼ぶ地方もあります
 - 7 〆〆〆やこんこ、あられやこんこ

- ヨコのカギ
- 2 〆〆〆に爪あり爪に爪なし
 - 3 成功すること

- 4 愛媛県の旧国名
- 6 今年は昭和22年生まれが数え年で迎えます
- 8 東奥三大霊場のひとつ〆〆〆山

問題

ABCDEFの順に並べた言葉は何でしょうか。6文字です。

答えのヒント

1月から3月までの限定だが町内小中学校で無償化されている

応募方法

★はがきに答え

(例) (A) (B) (C) (D) (E) (F)

住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、

〒362-8517

伊奈町中央四丁目355番地

議会広報委員会

までお送りください。

なお、本誌へのご意見やご感想などありましたら、あわせてお寄せください。

☆締切 2月28日(当日消印まで有効)

正解者のなかから抽選で10人の方にエコ手

前回の答えと当選者

袋を差し上げます。
☆正解と当選者の発表は次号の議会だよりに掲載します。

前回の答えは「ブンカサイ」でした。応募総数25人。正解者25人のうち抽選で10人の方に「エコ手袋」をお送りします。

〈当選者〉

伊藤利誠(本町)、千葉弘幸(本町)、平田登志子(小室)、赤沼テル(小針新宿)、塚本信子(小針新宿)、永倉三千代(中央)、赤瀬徹(西小針)、増田敬



▲ローズちゃんの「エコ手袋」※色は選べません

子(学園)、安藤春実(学園)、澤田直久(学園)

―順不同・敬称略―

伊奈町中央四丁目355番地
議会広報委員会行
切手 63円

答え(例) (A) (B) (C) (D) (E) (F)

郵便番号・住所

氏名・年齢

電話番号
ご意見・ご感想

(うら)

(おもて)

読者の声

―一部掲載―

◇毎月楽しく読んでおります。11月19日の議会報告会参加いたしました。

(50代)

◇クロスワードで伊奈町の情報が良くわかるので次回以降も楽しみにしております。伊奈町民として、伊奈町の現状や改善点についてもっと興味を持たないといけないと感じました。

(30代)

◇議会だよりの文字も大きく色づかいも良く見易いですね。

(80代)

◇80歳以上に補聴器代の一部負担が頂けたらと思います。

(90代)

◇学校のトイレに生理用品が置かれるようになります。学校以外の施設でも当たり前になればいいなと思います。

(10代)

◇共働きの家庭が多い中、保育園の延長は助

かと思っています。

◇議会だよりを通して、議員さんの取り組み方や活動内容がよくわかります。

(70代)

編集後記

令和4年12月議会も13日で無事に閉会しました。

令和4年を振り返ってみますと、まず、コロナウイルスの第6波が年明けに始まり、全国で感染者が10万人を超え医療現場も国民も不安を抱いて、マスクを2枚重ねる人もいました。

コロナ対策も3年目となりました。観光地活性化対策の県民割が始まり、その矢先の第6波の流行でありました。

現在も第7波、8波とコロナ感染症は続いております。

2月24日にはロシアがウクライナに侵攻、すでに10か月になります。逃げ惑う母子の姿は、戦争の悲惨を見せつけます。世界の流通は乱れ、円安は進み、

◇議会だよりで伊奈町の状況がよくわかります。

(70代)

まさに世界は混沌と混乱に包まれています。本年は寅年から卯年に、穏やかな年にジャンプしよう。

(大野 興二)



議会広報委員会

委員長 上野 尚徳
副委員長 高橋まゆみ
委員 武藤 倫雄
委員 山野 智彦
委員 大野 興一
委員 戸張 光枝
委員 藤原 義春
委員 青木 久男